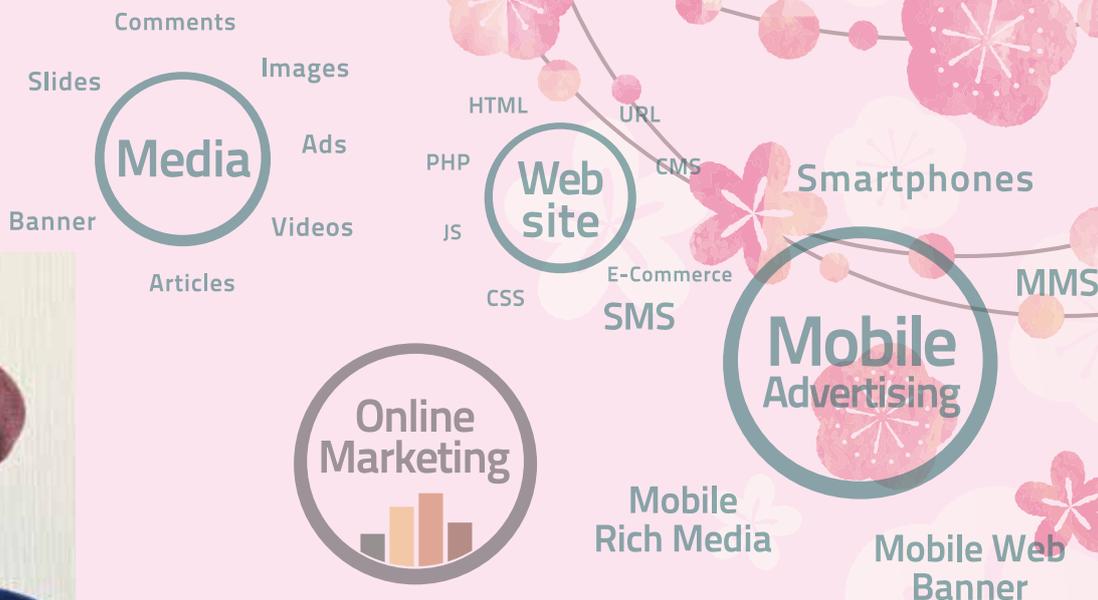


若宮正子講演会

YouTube
LIVE 配信

「生涯、楽しむ」を考える



若宮正子

メロウ倶楽部副会長、NPO法人ブロードバンド協会理事

若宮正子さんは昭和10年生まれ、今年86歳。戦前・戦中・戦後と大きく価値観が変わる中で、常に「今」を楽しんで生きてきました。

定年退職後、母親の介護で外出がしづらくなり、パソコン通信でおしゃべりを楽しむことに。その後はエクセルアート(エクセルのマスで図案を作る)や、スマホアプリの開発にも取り組みます。

絶えることなく湧いてくる好奇心。その秘密をお話しいたします。

第1部

講演: 若宮正子

第2部

対談:

「自分が動くと、楽しくなるかも。」
若宮正子×糟谷明範(理学療法士)



2021

2.28(日)

14:00~15:30

YouTube LIVE配信

(「府中市市民活動センター プラッツ」公式チャンネル)

費用 無料

※視聴方法についてご不明な方はご相談ください。

<https://youtu.be/ANWkRnOcai0>

主催: 府中市市民活動センター プラッツ

TEL 042-319-9703 / FAX 042-319-9714

MAIL moshikomi@fuchu-platz.jp H.P <http://www.fuchu-platz.jp/>

〒183-0023 東京都府中市宮町1-100 ル・シーニュ5,6階
京王線 府中駅南口直結

スマホの
画面を
かざして
ください



YouTubeURL



若宮 正子さん

メロウ倶楽部副会長、NPO法人ブロードバンド協会理事

80代からプログラミングを始め、スマートフォン用ゲームアプリ「hinadan」をリリース。世界最高齢のプログラマーとして注目され、アップル社CEOのティム・クックと対談しました。国連でのスピーチや、内閣府主催の「人生100年時代構想会議」有識者議員に選出されるなど、現在進行形で活躍を続けています。

「どんな人が優秀なのか」は、時代で変わる

若宮「18歳で銀行に就職し、定年まで42年間勤めました。私が入った当時は、お札を指で数えて、そろばんで計算をしていた。そういうことを正確に早くできるのが、『仕事ができる人』でした。

私は手先が不器用で、札勘定も計算も不得意。でもそのうちにコンピューター化が進んでくると、それは機械がやってくれます。物事をゼロから作り上げることが得意な私は、企画開発部門へ転属になりました。その後、男女雇用機会均等法の施行もあって、当時は珍しい女性管理職として仕事に取り組むことができました。時代が味方をしてくれた感じです」

ひとつのドアが閉まると、別のドアが開く

若宮「パソコンを購入したのは30年近く前、58歳の時です。その頃、数年後に迎える定年後の生活が少し不安でした。母を自宅で介護する予定だったので、自由に外出して友達とおしゃべりすることが難しくなるのではないかと思ったのです。

そんな時、『パソコンがあると、家にいながらいろんな人とおしゃべりができるんだって』と聞きました。さっそく購入したのですが、当時は接続設定も難しく、3か月くらい奮闘して、やっとインターネットにつながることができました。

嬉しくなった私は、シニアが集まるネットコミュニティ『メロウ倶楽部』に入会し、全国の仲間とおしゃべりを楽しむことに。メロウ倶楽部のウェルカムメッセージには『人生、60歳を過ぎるとおもしろくなります』と書かれていて、ワクワクが止まらなくなりましたね。年齢を重ねるとできなくなることもあるけれど、別の方法でもっとできるようにもなる。いくつになっても、自分次第で人生はどんどんおもしろくなります」

バイタリティにあふれる若宮さんのお話の続きは、2月28日にYouTubeでお聞きください！（視聴環境の無い方はご相談ください）



糟谷 明範さん

理学療法士、株式会社シンクハピネス 代表取締役

「医療者って、なんとなく偉そう…」。私たちがどことなく感じる心の壁を壊そうと、理学療法士の糟谷さんは白衣を脱ぎ、地域で訪問看護ステーションやコミュニティカフェの経営を始めました。

誰もがふらっと立ち寄り「助けて」を言い合える場所。今後はさらにそれを発展させ、幅広い年齢・さまざまな生き方の人たちが集まって暮らす「村」を作る構想を練っています。

糟谷「時代にあわせて、いつも柔軟に変化し続ける若宮さん。それはきっと心の中に、変わらない『何か』があるからこそだと思います。その『何か』をぜひ、お聞きしたいです！」